答え　1年の行事 その8



むずかしさ
★★★

赤い字が答えです

■ 1年の行事の問題です。答えを書きましょう。

(1) 【1月】1月の古い呼び名は？

親類が行き来して仲むつまじくする月から、という説（諸説あり）。

答え 睦月（むつき）

(2) 【2月】2月最初の午（うま）の日に、お稲荷さんで行われるお祭りは？

京都の伏見稲荷大社の神様が稲荷山にまつられたのが、和銅4年（711年）2月の初午の日だったという言い伝えにちなむ。

答え 初午（はつうま）

(3) 【5月】端午の節句に、男の子の成長を願って空に泳がせるのぼりは？

鯉が滝を登って竜になるという中国の言い伝えにちなむ。江戸時代に始まった習わし。

答え こいのぼり（鯉幟）

(4) 【6月】暦の上で、梅雨に入る日を何という？

雑節のひとつで毎年6月11日ごろ。実際の梅雨入りは気象庁が地域ごとに発表。

答え 入梅（にゅうばい）

(5) 【8月】徳島県で、お盆に行われる有名な踊りは？

毎年8月12日～15日に徳島市で行われる。

答え 阿波踊り（あわおどり）

(6) 【10月】十五夜のおよそ1か月後、旧暦9月13日の月見を何という？

栗名月・豆名月とも呼ばれる。

答え 十三夜（じゅうさんや）

(7) 【12月】12月13日ごろから、正月の準備を始めることを何という？

すす払い（大掃除）などをして、正月を迎える準備を始める日。江戸時代には江戸城などでこの日にすす払いをした（土地によっては12月8日に行った）。

答え 正月事始め（しょうがつことはじめ）（事始めでも正解）

ねらい：行事の記憶をたどり、言葉を思い出す力を使います。

声かけ：『ふるさとでは、どんなふうにしていましたか？』

メモ：　地域によって、ちがう習わしもあります。どの答えも、話のきっかけにどうぞ。

プリントのダウンロードは

まいにち元気道場　監修 作業療法士 石田竜生

© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます